

農協と組合員をつなぐ広報誌

なつしゅんぱ



豊原保育園では2月5日(火)、別海町総合スポーツセンターより講師を招き、スケート教室が行われました。スケートの技術を園児たちにレクチャーし、最後にゲームをして一緒に楽しみました。



3月号

2019 Vol. 494

合同講習会

衛星画像で牧草と雑草を判別



良質粗飼料生産利用対策委員会(山崎浩二委員長)、良質生乳生産推進委員会(藤倉紀夫委員長)主催、豊原・美原・中春別酪農振興会協賛による合同講習会が2月15日(金)団地センタートレーニング室にて、参加者57人のもと行われました。

(公財)北海道農業公社審議役・田中克佳氏と
技術管理役・田村聡氏による講演

良質粗飼料生産利用対策委員会では草地の植生改善に向けて、追播機械(シードマチック)の実演会の開催や強害雑草対策の注意喚起などを行ない少しでも畑に目を向けてもらうよう活動を進めています。今回の講習会では「リモートセンシング技術を用いた草地評価について」と題し、(公財)北海道農業公社審議役・田中克佳氏と技術管理役・田村聡氏を講師に招き講演していただきました。



リモートセンシングとは、対象物を接触せずに計測する手法で、今回は人工衛星で宇宙から撮影した画像を用

いての草地評価の技術について講演いただきました。衛星画像は急速スピードで高解像度化、高頻度化し、低価格化も進んでいます。本調査で使用している衛星はアメリカで作られたDOVE(ダウ)という非常に小さい衛星で2017年から運用し、中春別地域を午前10時から11時頃に通過し、天気に関わらず毎日撮影しています。

の衛星を用いれば地下茎型イネ科雑草の侵入程度を高精度で把握できる可能性があります。さら

イネ科雑草侵入の調査として、現地調査で牧草・雑草を確認しD-GPSで位置を記録。その後衛星データに重ね合わせ、そのポイントの反射特性を解析し、近赤外線(赤)の反射強度でチモシーとシバムギを判別し可視光線(赤)の反射強度でチモシーとリードカナリグ



に、1番草時期と晩秋時期の判別結果を組み合わせてチモシー・シバムギ・リードカナリググラスの3つを判別できる可能性も示されました。データを作成するうえでの課題として衛星画像の時期選定の難しさ(10月、11月は刈り遅れなどでバラつきがあるため)と現地調査の時期(短いと草種が不明に、長いと群落が不明に)、限られた時間でどの圃場を調査するかが難しい現状でした。課題点を踏まえ、昨年なかしゅんべつ未来牧

場に協力いただき調査を行いました。

素材集めのために圃場の形状データを作成し植生の状況を取得、衛星画像との対比のために現地調査を行いました。そして複数の時期の衛星画像から最も分析結果が良いものを地図作成に採用しました。完成した画像で草地評価を行うと29年更新の草地が牧草、永年草地が雑草優勢と表示され、肥培管理・追播の状態が地図にうまく反映されている事が見えてきました。同時に見えてきた課題として、主としている草種がチモシーでない場合や放牧地の場合など、ルールに当てはまらないケースと現地調査での草同士の比較という難しさ、調査圃場の代表性という点で現地調査に結果が左右される事があります。

正確性を図るためには肥培管理情報による知見の蓄積を重ねる必要があります。技術はまだ途上であり、失敗に臆さずに発展させていくことが必要になってきます。

初乳の取扱と分娩直後の搾乳衛生と方法



全国酪農業協同組合連合会
札幌支所、技術顧問・中田悦男氏による講演

良質生乳生産推進委員会は、将来的に搾乳牛になる前の健康な牛の土台づくりを目指して、全国酪農業協同組合連合会札幌支所、技術顧問・中田悦男氏を講師に招き「初乳の取扱と分娩直後の搾乳衛生と方法」と題し、講演していただきました。

1、初乳の品質と分娩後の初搾乳方法について
推奨する初搾乳方法と



して、①初搾乳前に乳房を消毒剤の入った温水に浸したタオルで乳房全体が見た目に清潔になるまで拭き上げ、しっかりと水分を拭き取る②各乳頭10回以上の前搾りをする③各乳頭をブレイディッピングするか、殺菌力のある（エタノールを含んだウエットティッシュなど）清拭資材で拭き取り清潔にする④搾乳者の手による二

次汚染を最小にし、洗浄・殺菌と調整されたバケツトミルクで搾乳する⑤搾乳後は効果のあるディッピング剤にきちんと乳頭を浸す。細菌を削減する方法として、乳房の毛焼きかバリカ（人間用でも可）で毛を短くする。人間の手には黄色ブドウ球菌などの菌が多く、素手で搾乳作業を行う事は大変危険である。

2、搾乳方法の改善、前搾り（乳頭刺激）の重要性、

過搾乳の75%は前半に発生している。①正確な乳頭刺激（オキシトシン）②正確な装着タイミング③持続するピーク乳量が改善したと

すると乳量が1kg増加したケースもある。

3、搾乳衛生について

バケツトミルクの衛生管理は搾乳される牛の健康に関わるためライナー、パルセータの拍動、各種ゴム類の管理を清潔に保つ必要がある。泡によるディッピングの有効性として①確実に乳頭全体をカバーできるのが目視できる②泡が長く乳頭に付着する③通常のディップ方法と比べて20%程度使用量を削減できる④付着している泡と拭き取った部分取り作業が丁寧になることにより、乳頭口の衛生レベルが向上する（搾乳後のフィルターの汚れが減少する）、同じディッピング剤を使用した試験で、泡と通常のディッピングでは、泡の方が大腸菌2・3倍、黄色ブドウ球菌1・8倍少なかった。

4、初乳（移行乳）の2次汚染と殺菌について

一般的な方法で搾乳された初乳の平均的な生菌数は、1ml中に2900個だったが、給与直前に生菌数を図ると49万個もあった。

哺乳牛の口に入るまでの段階で2次汚染があれば、全ての努力を台無しにしてしまう。例えばバケツトのミルククーロー内の衛生状況。哺乳ボトルやバケツトの缶を清潔に洗って乾かす。初乳を60℃、30分殺菌すると初乳中のヨーネ菌・サルモネラ菌・黄色ブドウ球菌・大腸菌等の各種病原菌を不活化させることができる。

中田氏は根室農業改良普及センターに平成22年3月まで在籍していた事もあり、当地区での経験も交えて話されました。



サポ。ト協議会に期待する 活発な意見が出されました

中春別営農サポート協議会（小湊均会長）第17回通常総会が、2月12日（火）に回地センタートレーニング室にて開催されました。

開会にあたりサポート協議会・小湊会長より挨拶があり、続いて来賓より中春別農業協同組合小湊代表理事組合長と中春別酪農対策協議会伊藤会長より挨拶をいただきました。議長には美原地区の所勝弘さんが指名され、議事に入りました。

議案第1号「平成30年度事業報告及び収支決算について」では、「労働力補完のためインターネット求人を中心とした研修生の募集や各地の学校訪問などを行い、研修生との交流や研修を行うことで人材の確保を図って参りましたが、人手

不足で満足できる体制ではありません。今後も労働力確保のため



に、更なる努力をして参ります」と説明がありました。次に議案第2号「平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）」では、「研修生の確保が大変厳しい状況下ではあります



が、会員の過重労働の軽減と地域農業の活性化を目指し、道内外の各学校との情報交換や連携を強め、研修生の安定確保に努めて参ります」と新年度事業計画の説明がありました。その他に、議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「細部規定の改正について」、議案第5号「役

員選考委員の選出について」以上、全5議案が提出され全議案可決承認されました。第4号議案「細部規定の改正について」は、小湊会長より「通勤型・ハウス型・同居型にかかわる給与を23万円に増額したい。求人を出している牧場はどこも20万円を超える給与であり、更に当協議会は社会保障がないため、自分で年金などを払うとなると貯蓄はほとんどできないため、この細部規定の改正を行いたい」との説明をして可決承認いただきました。

議場からは活発な意見が出され、今後の中春別営農サポート協議会に期待する声も寄せられました。議案第5号「役員選考委員の選出について」は執行部案を提出し、各地区2人の選考委員を選出され、第17回通常総会が終了しました。

今後とも中春別営農サポート協議会は、会員の皆様のゆとりある生活を目指し、労働力補完に取り組み参ります。本年度も昨年同様、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



中春別和牛研究会

(有)寺井牧場 枝肉共励会最優秀賞獲得を祝う会を開催



脂肪のきめ細かさ、肉の品質を評価

根室管内で初の栄冠を獲得

(有)寺井牧場の2018年度北海道枝肉共励会最優秀賞獲得を祝う会が、1月25日(金)中標津町ホテルマルエー温泉にて開催されました。



にぎやかな祝賀会となりました

平成30年12月1日、帯広市の(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場にて開催された2018年度北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)において、美原地区の(有)寺井牧場(寺井隆二代表取締役)が出品された「幸福平」号が最優秀賞を獲得しました。全道から去勢牛100頭の出品がある中、各付けA5、脂肪交雑を示すBMSは12番という最高の品質で根室管内でも初めての栄冠を手に入れました。

幸福平号は平成28年6月20日生まれ、29カ月齢で出荷されました。三代祖に幸紀雄一安福久一平茂勝を有し、枝肉重量は568kg、審査員からは「脂肪のきめが細かく、満遍なくロースに散らばっておりおいしそうだ」と評価されました。

中春別和牛研究会(野矢勝己会長)では、この栄誉を



謝辞をのべる寺井さん

称えようとJ・A・中春別後援のもと祝う会を開催し、野矢会長から寺井さんへお祝いが手渡され、来賓を代表して、小湊代表理事組合長より、「寺井さんに続いて中春別からこれからも素晴らしい和牛を輩

出していけるよう期待していただきます」との祝辞をいただきました。

寺井さんからは「家族や関係者の皆さんに支えられて受賞することができました。肥育を始めて約10年が経ちましたが、今後も良い牛作りのために努力していきたい」と謝辞が述べられました。

祝賀会中も参加者からは血統の選び方や育て方など多くの質問が寄せられ、とてもにぎやかなひと時となり、最後に寺井さんから参加者へ最優秀賞受賞記念品が贈られ、祝賀会は盛会裏のうちを終りました。



最優秀賞を獲得した幸福平号の枝肉

根室地区JA青年部幹部研修に参加して

地域の未来を担う、若い生産者の活躍に向けて

毎年開催されております根室地区JA青年部幹部研修が、1月21日(月)から23日(水)の3日間において開催され、当青年部から柿本竜矢理事、中山泰輔部員が参加し、1日目はホクレン・中央会との意見交換会(札幌)、2日目は農水省との意見交換会(東京)、3日目は議員会館への表敬訪問を行いました。

1月21日 一般社団法人家の光協会 「地上」編集部研修・意見 交換会

家の光協会は、JAグループの一員として、協同組合精神にもとづき、出版文化活動を通じて農村漁村文化の向上に寄与することを目的として設立された団体です。月刊誌「家の光」、「地上」そして子供向けの「ちゃぐりん」は皆さんも目にしたことがあるかと思いますが、この研修・意見交換会では、青年部員の私達が行う消費拡大運動や学生を対象に行われる、食農教育活動への参考になる意見やヒント



「地上」編集部との意見交換会

を得る事ができたと思います。

1月22日 一般社団法人 Jミルク研修・意見交換会

Jミルクは、日本のミルクサプライチェーンを構成する、酪農生産者・乳業者・牛乳販売店が一体となった、業界横断的な組織です。

この研修では、今後の牛乳・乳製品需給見通しや乳用牛頭数、家畜販売価格の推移などの詳しい解説と、牛乳・乳製品需要創出に向けた取り組みとして行っている「乳和食」や「アンチミルク対策」についての解説をしていただきました。

6月1日は「世界牛乳の日」だそうです！ミルクで乾杯してみてもいいかがでしょうか？



Jミルクにて説明を受ける

1月22日 農林水産省と根室地区 JA青年部との意見交換会

限られた時間でしたが、担い手・労働力、畜産クラスター事業、家畜防疫等の意見や質問を伝えることができ、また丁寧な回答をしていただきました。

その後に行われた懇親会では、和やかな雰囲気の中



農水省各担当者と意見交換会

でより深い話しをすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

1月23日 伊東良孝衆議院議員への 表敬訪問

衆議院第一会館へ移動し、衆議院議員・伊東良孝氏へ表敬訪問を行いました。忙



伊東良孝衆議院議員へ表敬訪問

しい中お時間をいただき、昨今の酪農情勢や現場の悩みなどについて意見交換をさせていただきました。

2泊3日と短い中での研修会でしたが、研修先の方々からの貴重な意見を聞くことができました。研修を通じて得た意見や知識を、今後の酪農経営や青年部活動への取り組みに活かしていきたいと思えます。

また管内盟友との懇親会で日頃の仕事の話から青年部活動について語り合うことができ、管内盟友との親睦も図ることができた研修会となりました。

最後に研修を受け入れてくださった関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

(青年部部长・野矢貴志、理事・荒貴志)

全道JA青年部長研修会を終えて

感銘を受けた講義内容 と盟友の志の高さ

去る1月28日(月)から29日(火)の日程で行われました、北海道農協青年部協議会の主催による全道JA青年部長研修会に参加してきました。

今年度の開催は北農ビルで行われ、全道から82人の青年部長、次期部長候補の盟友が一堂に会しました。

根室地区より私と計根別の2人のみの参加となり、顔見知りのほとんどいない中、席に着きました。会場には道内各地の盟友がおり、業

種も稲作、畑作、果樹、花卉、酪農、畜産と多種多様であり、初対面という事もある中、開講前の空き時間に少々緊張しながらの名刺交換を行いました。

開講式後、1つ目の講義を受講。「実践を通してアイヌ・スプレイクを学ぼう」と題



小林国之准教授による講義

しまして、NPO法人 ezorock 代表理事、草野竹史氏が緊張状態の和らげ方、円滑なコミュニケーションスキルの身につけ方をグループゲーム的な要素を駆使し、熱心に講義していただきました。

2つ目の講義は「協同組合を考え」と題し、小林国之北大大学院農学研究大学院准教授による、「協同組合とは」「農協の課題と青年部の役割」、「法改正後のこれからの農協」と、これからの時代を担う若手農業者に将来像をイメージして営農して欲しいと激励の意味を込め、難しくもメッセージ性のある講義をしていただきました。

その後は会場を移した後、情報交換会に参加し、食と飲酒の後押しのおかげで、和気藹々と仕事や家庭の話などを語り合い夜が更けていきました。



研修2日目の講義は「ビジネススマナー」と題し、株式会社AOKI 法人部課長、小野太郎氏による「スーツ」着こなし&マナー講座のレクチャーでは日頃より疑問に思うスーツの事、名刺交換のレアなケースを実技していただきました。

北海道青年部協議会役員方の運営力、全道盟友の志の高さなど感銘を受けました。

研修会の最後に「次世代へのエール」と題し、6地区の地区青協の会長による道青協役員への要望、単組の直面している問題などを一問一答で聞くという前例にない取り組みにより、活発な討論となりました。予定していた時間を大幅に超え、閉講式を省くという前代未聞の研修となりました。

現青年部の役員を務めている事で、このような貴重な研修にて得たことを仕事、私生活、青年部活動に活かしていけるよう頑張りたいと思います。ありがとうございます。



マナー講座で名刺交換の実技を学ぶ

青年部会 視察研修会

農業の近代化を 肌で感じた研修会

青年部の中でも30歳以下の若手で構成される青年部会（内藤俊部会長）では、2月5日（火）～7日（木）札幌近郊での視察研修会を開催しました。

日本ニューホランド㈱ 苫小牧デポ

今回は3カ所での視察を行い、始めに、苫小牧市内



日本ニューホランド㈱にて説明を受けました

の日本ニューホランド㈱苫小牧デポへの視察を行いました。場内の部品庫・商品倉庫・トラクター倉庫を見学させていただき、ピジターにて会社概要の説明を受けました。中でも、物流に

中田牧場

次に、江別市内の大麻にある、中田牧場への視察を行いました。中田牧場では、乳牛改良に力を入れており、乳牛改良に関わる表彰を受けたこともあるとのこと。現在は、ゲノム解析による乳牛改良に重視しており、ゲノム検査の活用により、受胎率や脂肪量、生産性の向上を目指している



とのこと。今後も個体管理を模索しながら経営を行っていくと話されておりました。

㈱ピコンジャパン 札幌営業所

最後に、㈱ピコンジャパン札幌営業所への視察を行いました。事務所にて会社概要の説明を受けてから、社



GPS機器の説明を受けました

内全体の視察をしました。ピコンジャパンでは、GPS機器を重視しており、牧草収穫機械へのGPS機器導入による、経営への影響力をデータや映像により詳しく説明いただきました。スプレーヤーやワイドスプレッターでは、衛星画像を活用した施肥マップ（草地の生育情報などを可視化したもの）をもとに、草地の生育状況に合わせて散布量を調整でき、経費の削減を図れるとのことでした。

視察終了後には、親睦会を行い、部員間の交流も図ることができました。今回の視察を通じて得たことを活かして、これからの営農や青年部活動に努めていきたいと思えます。

平成30年度
JA青年部
リーダー
養成研修会

積極的な 青年部活動に向けて

2月6日(水)～8日(金)に江別市の北海道農業協同組合学校で、JA青年部リーダー養成研修会が開催されました。

JA青年部組織にあたって、必要な基本的知識やリーダーシップ発揮のためのコミュニケーション力の向上を図るこ



グループごとに共同研究を実施

とを目的に研修会を開催しており、全道各地から集まった盟友と共に、JA青年部の役割や在り方などの講義、グループで議題に対し各自の考え方を話し合う共同研究など、普段体験できないことを行うことができました。

また、懇親会もあり、それぞれの仕事や地元について、プライベートな話に

華を咲かせ、情報交換にもなり交流を図れました。

今回の研修会を終えて、どの地域でも、部員不足や事業参加者の減少など、抱えている悩みは同じで、今後の課題の一つであることがわかりました。それでも、青年部活動の活性化に向けた積極的な姿勢である役員の方々の姿を踏まえて、自分も青年部活動に対し、積極性を出していきたいと思いました。

全体を通して、今回の研修会に参加したこと、青年部活動に対する意識や向き合い方を改めて考える、良い機会になりました。この研修で得たことを活かし、今後の青年部活動に取り組みたいと思います。(青年部・佐々木淳司)



女性部 プリザーブドフラワーアレンジメント作り

自分好みの作品ができました

女性部ではプリザーブドフラワーアレンジメント作りを1月31日(水)に行いました。

いろいろな種類の中から好きなものを選び黙々と作業をしていきます。

今回は講師の方を呼ばずにセットになっているものを買入したため、説明書がわかりずらい所があると、周りの人たち同士で教えあ

いながら全員完成させることができました。さすが綺麗にできてよかった。玄関に飾るのがたのしみです」と、皆さん出来栄えに満足していたようでした。



女性部 **フレッシュミセス部会**

本格的なイタリアンの作り方を 教えていただきました

フレッシュミセス部会では、2月14日(木)中標津町のオステリアアフェリーチエにて料理講習会と反省会を開催しました。

豚肉のタリアアータ、小エビのトマトクリームソース、ピザ、バーニャカウダ、苺のムースの作り方を教えていただきました。

豚肉にかけるソースは赤ワイン、みりん、マスタードを合わせるとバルサミコ酢がなくても本格的な味になるということや、ニンニクは牛乳で柔らかくなるまで煮ることに



よって臭みが消え、料理に使いやすくなることなど本格的なイタリアンの作り方をわかりやすく説明していただき、出来上がった美味しい料理を食べながら部員同士で会話が弾みました。

女性部 **趣味の会**

美味しいまんじゅうができました!

趣味の会では2月20日(水)にまんじゅう作りと反省会を行いました。

今回はつぶあん・白あん・かぼちやあんの3種類を合計で300個作りました。分量を量つてある材料を皆で混ぜ合わせていきます。生地を使うバターが溶けないようにストープは付けず肌寒い中、生地とあんを分け、柔らかい生地が破けない

ように丁寧に包んだら卵黄を塗り焼いていきます。

調理室には美味しそうな匂いが立ち込め、出来上がったおまんじゅうは、その場で試食します。冷めるのを待つている間に反省会と昼食を済ませ、出来上がったおまんじゅうをお土産に持ち解散となりました。



根室農業改良普及センター
営農対策情報

生乳処理室の整理整頓

～処理室の乱れは、乳質の乱れ～

食品を管理する処理室はいつでも清潔な場所にしたいですね。また、整理整頓された環境は、従業員の方やヘルパーの方も動きやすく、作業効率も高まります。

「やらなくちゃと思っていたけど・・・、整理整頓が苦手…」という方のために、今回はポイントをまとめました。清潔な処理室で良質な乳生産をしましょう！

集乳記録



棚を作成

縦のスペースを有効活用

処理室が狭い場合は、棚やつっぱり棒を活用して、縦のスペースを有効活用しましょう！



不要なものは捨てる！

- 領収書、伝票、FAXなどは目を通し、必要なければ捨てる
- 一定期間使わなかった物は「いらぬ物」として捨てましょう！



道具は目的に合わせてまとめて置く

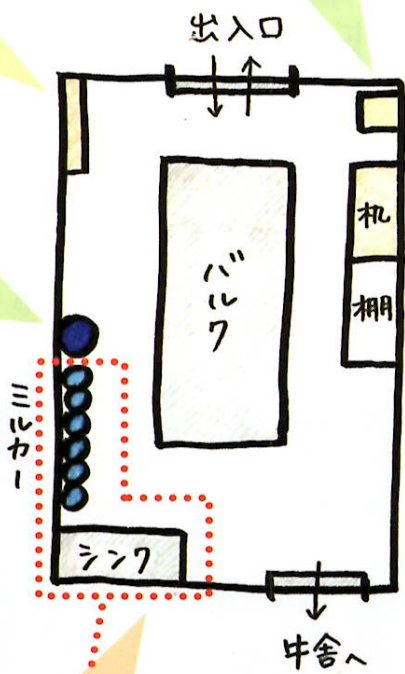


搾乳セット

置き場所が決まると、従業員やヘルパーの方も探しやすい

在庫管理「あえて見せる」

段ボールから出して、透明な棚やBOXを活用すると、在庫の把握が明確！



床には直接物を置かない

水洗いしやすいように、工夫すると楽ですね♪



すのこ、棚などを活用

そうじを簡単に！

壁は「汚れが落ちやすい素材」を使用



劣化したコンクリート



FRPで塗装





豊原保育園では、2月5日(火)別海町総合スポーツセンターの菊地さんと宇野沢さんを講師に招き、スケート教室を行いました。

北風に負けるな！ 氷上に笑顔がいっぱい

豊原保育園
スケート教室



準備体操を終え、スケート靴を履いてスケート教室が始まりました。今年に入って豊原保育園でスケートを行うのは4回目となり、多くの園児が上手にイスイス滑っていました。講師からスケートの基礎として足踏みやジャンプ、滑る時のウデの振り方や怪我をしない安全な転び方などを学び、園児たちも限られた時間の中で楽しみながら、練習をしました。その後、菊地講師からスタートの仕方 of レクチャーがあり、園児たちも教えどおりに何回も練習を重ね、コツを覚え、上達しました。

最後に、講師と「だるまさんが転んだ」や、園児たちで先生を捕まえる「おにごっこ」を行いました。園児たちは滑ったり止まったりを繰り返して、寒さも忘れ夢中になっていました。

最後に記念写真を撮り、講師と握手をしてスケート教室は終了となりました。寒い中参加された皆さんお疲れ様でした。





寒さに負けず 父兄と一緒に氷上ゲーム

豊原保育園 親子参観日

豊原保育園で2月8日(金)、親子参観日が行われました



防寒着に身を包み準備万端で開催の合図を待ち、紅白に分かれて競技に入りました。

「オセロゲーム」では、中央に置かれたオセロをチームの色に変えます。笛の合図

と同時に両チームの子供たちにはオセロへ一直線。お互い一歩も引かない勝負となりました。

「追いかけ玉入れ」は、ソリを引いて逃げ回る父兄を子供たちが追いかけます。

子供たちは夢中でソリを追いかけながら、玉を投げ入れていきました。

急きょプログラムに追加された「ボール箱リレー」は、白組がリードを続けそのまま勝利。続いての「そりリレー」ではソリに乗った友達を一所懸命引っ張る園児たちの姿が。



「ちびっ子カーリング」は、ボール箱に乗った園児をより遠くまで滑らせるという内容。「しっかり掴まれよー!」と言いながら全力で押す父兄の姿が見られました。その後、「だるまさんが転んだ」を子供と大人の2回に分けて行い、ゴールした人からみかんをゲット。大人の番では園児たちが動いてないかをチェック。厳しいチェックで何度も戻されました。

最後に「おかしまき」を行い、今日のおやつをゲット。笑い声がたえない親子参観となりました。





赤鬼登場で 園児たちびっくり! 良い子になるとお約束

中春別保育園 節分



中春別保育園にて2月1日(金)、節分お楽しみ会が行われました。

園児たちは今日の為に作った鬼のお面をつけて集まり、ひよこことり組から作ったお面と豆入れの作り方をみんなに発表しました。はな組も作り方と難しかったところなどを発表し、年長のほし組はお面とペットボトルに銀の折り紙を巻いて作った金棒を発表しました。各組の園児が全員の前で発表を終えると、先生が園児に絵本「せつぶんのひのおにいつか」を読み聞かせ。読み聞かせが終わると豆まきが始まりました。先生たちが撒いた豆をひよこことり組から順番に拾い集め、ほし組の番になると先生たちの豆を撒くペースもヒートアップ。「いじわる鬼、好き嫌い鬼、友達を叩く鬼はいないか?」など先生は園児たちの中にいる悪い鬼を言いながら園児のそばに豆を撒いていました。

園児たち全員が豆を拾い集めると、園内に大きな太鼓の音が響き、辺りが暗くなる、「悪い子はいねーか!」と大きな声で赤鬼が登場。先ほどまで楽しく豆を拾っていた園児たちの表情は一変しパニックに。部屋の隅に隠れる子や、大泣きし先生にしがみつくと子など、大騒ぎに。集めた豆を必死に投げつけても全くひるまない鬼から園児たちへ「先生たちの言う事を聞いて良い子にするんだぞ!約束守らないといつても来るからな!」と言うと、「約束守るので、もう絶対来ないでください!」と約束をし、鬼が退場して中春別保育園の節分が終わりました。



【酪農経営科】活動内容を報告

1月29日(火)本校体育館にて農業クラブの東北道実績発表大会に出場した3発表と海外研修の1発表を、全校生徒の前で発表しました。この取り組みは、酪農経営科の活動内容を普通科の生徒にも知ってもらうためにはじめたものです。普段は接することが少ない普通科生徒も、酪農経営科生徒のプロジェクト発表を、熱心に聞いていました。



全校生徒の前で発表

【酪農経営科】全道実績発表大会

1月30日(水)～2月1日(金)に、日本学校農業クラブ北海道連盟全道実績発表大会が名寄産業高校にて開催されました。本校からは分野(特)類に飼料作物研究班が出場しました。参加生徒は今回の大会をとおして、各地域で勝ち抜いてきた学校のハイレベルな発表を聞くと同時に課題解決について取り組んだ成果を発表する経験を積むことができました。参加した生徒からは「入賞できず悔しい思いをしたが、来年度も全道大会に出場し、入賞できるようこれからも頑張っていきたい」といった感想と来年度への意気込みが聞かれました。惜しくも入賞は逃しましたが、今後の専門分会活動に今回の活動を還元してくれるものと思います。



他校の参加生徒とともに

【酪農経営科】次年度の専門分会班

酪農経営科では、次年度に向けたプロジェクトチームがそれぞれ計画立案や、各関係機関との連絡調整などの活動を始めています。次年度の専門分会班は以下のとおりです



飼料作物班



資源循環班



動物ハイ才班



乳製品加工班

酪農経営科では、次年度も引き続き各班の具体的な活動紹介をさせていただきます。

【専攻科】学友会年度末総会

1月22日(火)に学友会年度末総会を実施しました。今年度の事業について反省や予算執行についての議案が中心でしたが、全て全会一致で承認されました。また、次年度の役員についても積極的な立候補の結果全会一致で承認され次のように決定しました。今後の活躍に期待いたします。



学友会年度末総会の様子

会長	古谷 吹雪	(別海)
副会長	河島 竜平	(標津)
理事	森田 岬	(別海)
監査	笛木 兵吾	(標茶)

【専攻科】第3回酪農技術現地研修会

1月25日(金)専攻科ゼミ室において第3回酪農技術現地研修会を実施しました。午前中は中標津町西竹で就農されている岡田様ご夫妻より「40歳!!で新規就農」と題して長年企業に勤務された後、退職し西竹にて夫婦二人で経営してこられた経験などを講演していただきました。午後からは、税理士法人オーレンス税務事務所の保科様より「個人事業主が納める消費税・所得税について」と題して主に、確定申告や納税について詳しくご講演していただきました。学生は、今後経営していくにあたり興味深い内容であったので、メモを取りながら質問している姿がありました。



第3回酪農技術現地研修会の様子

【専攻科】加工実習

2月8日、2月12日に加工実習を行いました。8日はべつかい乳業興社にて、松原様、須郷様のご指導の下、パン製造を行いました。生地段階から数種類の菓子パンを焼き上げ、本格的なものを作ることが出来ました。大量にできあがる焼きたてパンを試食した学生からは、「市販のパンの製造方法を知る事ができ感動しました」との感想がありました。また、12日は営農センターにて、ソーセージ製造を実施しました。専攻科所有の小規模機械を使用し、学生からは「前回の実習では大規模な機械で製造したので、楽に感じる部分もありましたが、小型機械を使ってみて大変さを実感しました」との感想がありました。



加工実習の様子



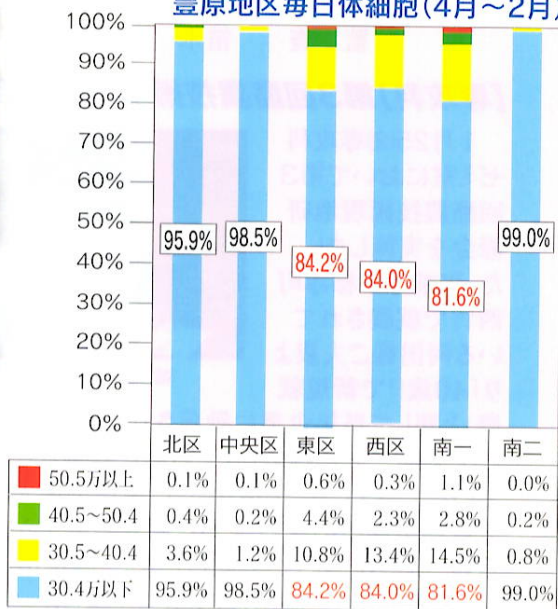
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **5**件 管内合計では**11**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**3**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。

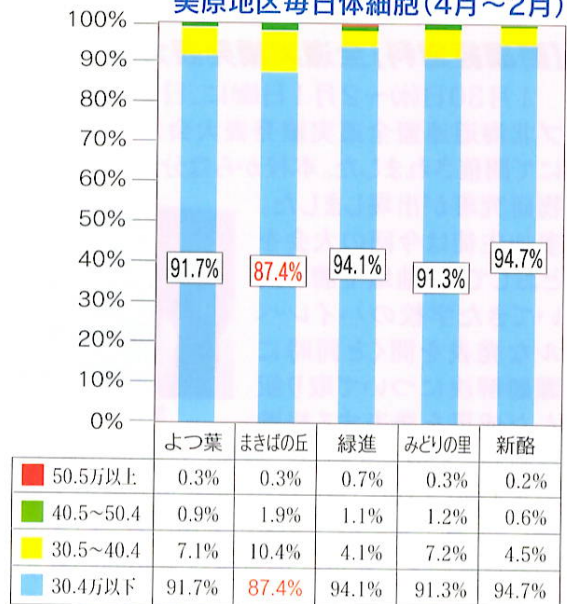
投薬後の確認作業、意思疎通は二度、三度!!
しつこい位の徹底を!!マークバンドも忘れずに!!

良質生乳生産推進委員会からの標語

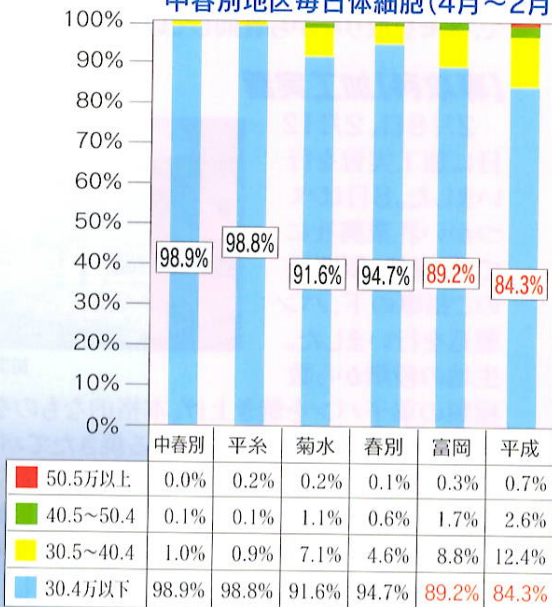
豊原地区毎日々体細胞(4月~2月)



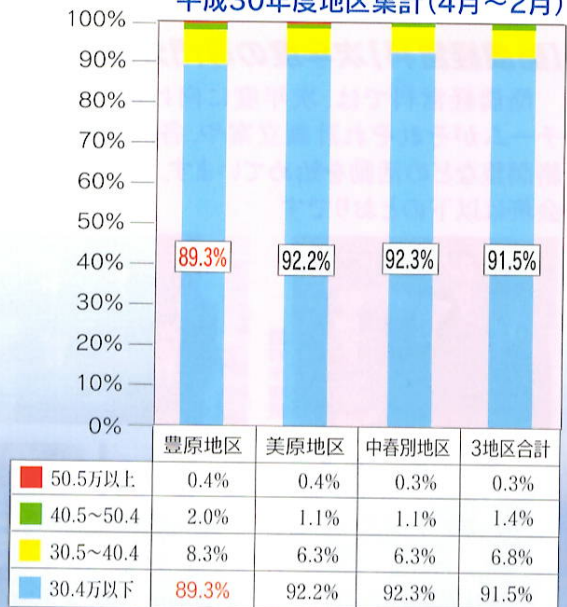
美原地区毎日々体細胞(4月~2月)



中春別地区毎日々体細胞(4月~2月)



平成30年度地区集計(4月~2月)



お詫びと訂正 先月号(2月号)に掲載しました生乳課情報に誤りがありましたので訂正いたします。平成31年1月31日現在の管内の抗生物質混入事故発生件数を12件と掲載しましたが、正しくは11件でした。お詫びして訂正いたします。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。

この取り組みは、自立支援活動として、JAグループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から巣立った後も栄養バランスを考え、た食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10人が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供たちに夢や希望を持ってもらうことを目的に、「ファイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1200人余りの子供達を招待しました。

「初めて野球の試合を見て楽しかったです」「声がかれるほど応援しました」などの感想をいただき、多くの子供たちに楽しんでいただきました。

ホクレン

JAとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研究会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・JAの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループデイスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



JA共済連北海道

JA共済では、「こども共済」資料請求キャンペーンを実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、「JA共済 オリジナル アンパンマンお食事エプロン」をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日(水)まで、先着6万人様となっております。

この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



第12回 理事会の動き

平成31年2月25日(月)

議 案

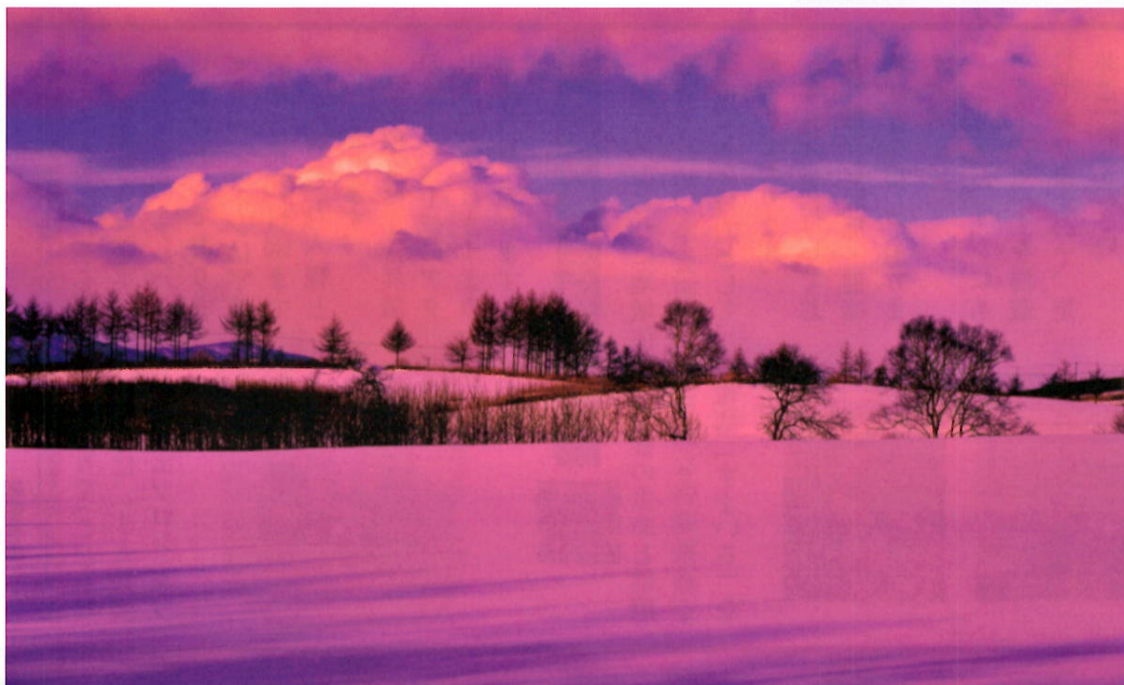
1. 平成31年度理事報酬額の諮問(案)について
2. 今後の信用事業運営の方向性について
3. 機構改正について
4. マネロン及び反社会的勢力等への対応に関する規定類の改正について
5. 平成31営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱(案)について
7. 特定疾病感染補償互助会規程の一部改定について
8. 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会・全酪連本所表敬訪問並びに農林水産省との意見交換の実施について

報告事項

1. 平成30年度12月末監査報告について
2. 組合員の脱退について
3. 平成30年度1月末決算見通しについて
4. 監事監査規程の一部変更について
5. 平成30年度自己査定12月末仮査定結果について
6. 年度末貯金推進の実施について
7. 平成30年度決算棚卸実査について
8. 平成30年度1月末営農関連実績について

協議事項

1. 理事会役員推薦について



赤色の冬 中春別(写真提供・南澤三郎氏)

一口豆知識

間違っ覚えていませんか？

違った意味で使われることの多いことわざ

「情けは人のためならず」

間違っ使っている人が特に多いのが、このことわざ。
本来の意味は「人に情けを掛けることでいつか自分にも回ってくるので、人には優しくしましょう」という意味です。決して人に情けをかけて甘やかすなという意味ではありません。

「馬子にも衣装」

孫じゃないし、かわいいという意味でもありません。
「下働きのような人間でもちゃんとした衣装を着ればそれなりに見える」という意味で、間違っても「かわいい！」という意味で使わないでください。

「かわいい子には旅をさせよ」

かわいい子なら厳しい旅をさせて、いろんなことを体験させてあげるべきという意味です。かわいいからと甘やかしてはいけない、ということです。

「ぬれ手で粟(あわ)」

「粟」を「泡」だと思い、泡がすぐに消えてしまうので意味がないと解釈しているケースです。本来の意味は「労せず大きな利益を得ること」です。ぬれた手で粟をつかむと、ぬれた部分にも粟が付いてたくさん取ることができるということです。

「イヌも歩けば棒に当たる」

かるたでもおなじみのこのことわざ。「思わぬ幸運が舞い込む」という良い意味もあるのです。じつと家にいるイヌでも出歩けば棒に当たるような何か変わった出来事が起こるといった「とにかく行動すべし」という意味もあつたりします。

「檄を飛ばす」

自分の主張を広くつたえ、行動をうながす文書を送る意味です。
励ましたり、はつぱをかける(力強い言葉、激しい言葉で相手の気合を入れたり、行動を後押しをする)という意味で覚えていませんか？

1月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

1月分乳代支払単価

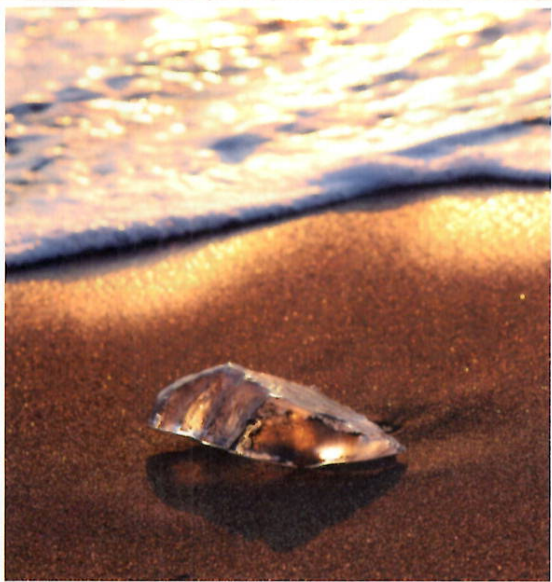
		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		920.896		37.54	36.96	0.58	
無脂乳固形分		584.132		51.51	51.05	0.46	
生産者補給金		6.3616		6.36			
集送乳調整金		1.8784		1.88			
補給金合計		8.2400		8.24	8.29	-0.05	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	316,305,282.4kg	3.75	3.74	0.01
			0	7,974,409.6kg			
			-3	210,966.6kg			
	ランク1	2	286,646,599.1kg				
体細胞数	ランク2	1	19,927,975.3kg				
	ランク3	-2	3,935,663.5kg				
	乳製品向原料確保奨励金					0.34	-0.34
合計				101.04	100.38	0.66	

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	37円54銭	
無脂乳固形分②	51円51銭	
生産者補給金③	6円36銭	
集送乳調整金④	1円88銭	
脂肪率	全道	4.08%
	農協	4.15%
無脂固形分率	全道	8.82%
	農協	8.75%
成分乳価	全道	97円29銭
①+②+③+④=⑤	農協	97円62銭
乳質乳価⑥	全道	3円75銭
	農協	3円76銭
乳代合計	全道	101円04銭
	農協	101円38銭
⑤+⑥	差異	0円34銭

組合員の広場



作品名「ジュエリーアイス」小林亮平さん



作品名「ジュエリーアイス」小林亮平さん



作品名「ジュエリーアイス」小林亮平さん

今月号の組合員の広場は小林亮平さんの作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・久末までお気軽にご連絡ください。